

港区立青山中学校
平成27年度 授業改善推進プラン

- 教育基本法等関係法令
- 東京都教育ビジョン(第3次)
- 港区学校教育推進計画(平成27～32年度)

教育目標

- 人権尊重の精神を基調として、心身ともに健康で、知性と感性に富み、生涯を通じて主体的に学び続け、国際社会に貢献できる人間性豊かな生徒の育成を目指す教育を推進する。
- ねばり強く、真剣に学習する生徒
 - 思いやりの心もち、奉仕する生徒
 - 進んで心身の健康に努める生徒

- 学校、地域の実態
- 保護者、地域の願い
- 期待される生徒像
 - ① 真剣な学習
 - ② 節度ある行動

学校経営方針(学力向上にかかわる要点)

- ① 教科において、基礎・基本の確実な定着を図る指導を行うとともに、発展的な学習を計画的・段階的に取り入れる。
- ② 各教科において、言語活動の充実を図る指導を工夫するとともに、問題解決的な学習、自主的・自発的な学習を取り入れ、生徒の授業への能動的な関わりを強める。
- ③ 適正な評価基準を設定して学習状況の評価を実施する。また、生徒の学習の達成状況と課題を的確に把握し3学年間累積し、個に応じた指導を充実させる。
- ④ デジタル教科書、電子黒板等の機器を活用し、生徒の興味・関心を高め、個々の課題に対応できる授業を工夫する。
- ⑤ 漢字検定、数学検定、実用英語技能検定を学校を会場にそれぞれ年間3回実施し、また、各種コンクールへの応募を促進することにより、目標をもって学習に取り組みせ、学習意欲を高める。
- ⑥ 小・中学校の9学年間一貫カリキュラム「MINATOカリキュラム」による指導を行い、小・中学校の円滑な接続を図るとともに、各学年で習得すべき学習内容の確実な定着を図る。

各教科等の指導の重点



道徳教育の指導の重点

全教育活動を通じて、道徳的実践力を育成するとともに、将来にわたって道徳的な態度を保ち、道徳的実践ができるようにする。

- ① 人権尊重の理念を正しく理解し、思いやりや生命尊重など豊かな人間力を育てる。
- ② さまざまな体験を通して、道徳的心情を豊かにし、道徳的実践力を高める。
- ③ 基本的な生活習慣を確実に身に付けさせる。

教科	指導の重点
国語	ことばの豊かな世界に触れながら、漢字・語句等の知識の習得に力を入れる。小テストや復習プリント等を定期的に行い、基礎・基本の定着を図る。文章の構成を理解して読み書きができ、要旨をとらえる力を育成する。
社会	基礎的な内容の定着のため復習の習慣化を図るとともにプリント学習を実施する。様々な社会的事象について、課題意識をもって自分の意見を表現できるようにする。
数学	基礎・基本の指導を丁寧に行い、発展的な内容も積極的に扱う。習熟度別指導を通して、聞く力、表現力等の定着を図る。小テストなどの反復学習、数学的活動やICTの活用により関心・意欲を高める。
理科	実験・観察を多く取り上げ、興味・関心を引き出し、実験・観察の技能の向上を図る。考察する場面を多く取り入れ、科学的思考力を育成する。また、繰り返しの学習を工夫し、知識の定着を図る。
音楽	様々な音楽活動を通して、表現する力を育てる。和太鼓や箏などの和楽器を用いた授業を実施し、芸術教室で本物の音楽に触れる機会をもつなど、生徒の興味・関心を高めるよう工夫する。
美術	年3回の土曜美術館体験学習を行い、学芸員から直接話を聞く。名作の鑑賞を通じて、その技法や作品と社会との関係性を知った後で、授業作品を作ることを意味を体験しながら感じる力を育てる。
保健体育	整列や号令指導、話を聞く態度の育成など、望ましい集団行動への意識を高める。自己の課題発見と解決のために毎時間振り返りの時間や学習カードでの振り返りの機会を設定する。
技術	座学と実習を関連付けて、興味・関心を引き出し、学習意欲を向上させる。学習や実技の振り返りの機会を設定し、知識理解の定着や技能の向上を図る。
家庭	生活に必要な知識と技能の習得を通して、生活に結び付けて学習することで理解を深め、進んで生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。
英語	4技能の総合的な活動を通して基礎・基本の定着を図るとともに、評価のフィードバックを活用して生徒が自分の課題克服を目指す工夫を行う。スピーチやスキット等のプレゼンテーションの機会を多く設け、ネイティブ・ティーチャーを活用して実践的コミュニケーション能力の向上を図る。

生活指導の重点

生徒が安心して生活できる学校づくりを推進するため、以下の4点を重点目標とする。

- ① 自主的な生活
- ② 挨拶、言葉遣い
- ③ 話を聞く態度
- ④ 適切な服装

進路指導の重点

キャリア教育を生かし生徒が自他を理解し、規律ある生活の中で、自分の将来を考え、主体的に社会に対応する能力・態度を育てる。

総合的な学習の時間の指導の重点

多様な体験学習活動を行い、主体的な学習や探究活動に取り組む態度を育成し、自己の生き方について自覚を深めさせる。

授業改善に向けた視点

教育課程編成上の工夫	指導内容・指導方法の工夫	学習評価の工夫	校内における研究方法や研修の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
○言語活動の充実 ○土曜授業の有効活用 ○「MINATOカリキュラム」による指導	○「表現する力」の育成 ○基礎的・基本的内容の定着 ▲小・中の接続を図った各教科等の指導	○生徒、保護者に評価の方針、方法を説明 ○教科別保護者相談会実施 ▲指導と評価の研修	○校内研修プロジェクトでの現状分析と評価 ○授業研究の実施 ○言語活動の充実 ○青山アカデミーの幼・小・中の連携 ○ICTの活用	○学校公開週間および公開授業日を計画的に設定 ○学校行事への保護者・地域の参加促進 ○地域行事への生徒の参加促進

☆→今年度からの取組み ○→定着・継続している取組み ▲→活性化が必要な取組み